

株主の皆様へ

第118期
年次報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

株主の皆様へ



代表取締役社長 安藤 道明

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成22年3月31日をもちまして第118期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、金融危機に端を発した世界的な景気低迷から、輸出や生産に一部持ち直しの動きが見られるようになったものの、設備投資の抑制、また、個人所得の減少や雇用不安の増大に伴うデフレの進行等により、企業収益は依然として厳しい状況が続いております。

貴金属リサイクル業界におきましては、景気低迷による需要の減少、為替相場の変動等の影響があったものの、金・銀・プラチナ等の貴金属市況が回復基調にあったことから、業績は概ね好調に推移しました。

当社の主力とする貴金属事業におきましては、東京工場において、生産効率の高い金精製設備の増設が完了し、平成21年4月には月産1,000キログラム

の金生産体制が整いました。

営業面では、支店を新設する等の営業強化が実を結び、金原料の集荷量が増加したことから、金の生産量および売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

不動産事業におきましては、首都圏における分譲マンション等の価格下落および大幅に拡充された住宅ローン減税等の恩恵を受け、一部で在庫調整が進捗するなど好転の兆しが見られましたが、企業収益の悪化に伴い主要都市におけるオフィスビル、商業施設の空室率が上昇する等、依然厳しい状況のもとで推移いたしました。

売上高につきましては、前期は大型物件の販売があったこともあり、当期の売上高は前年実績を大きく下回りました。

機械事業におきましては、中国をはじめとするアジア新興諸国の経済の拡大、在庫調整の進捗等、景気は穏やかな回復基調にありますが、国内の工作機械の受注は依然として低迷を続けております。

売上高は、設備投資の抑制の影響を受け、大幅に減少いたしました。

投資事業におきましては、重要性が増したことが

ら、内容を適切に開示するため、当期よりセグメント区分することいたしました。

これにより、貴金属事業、不動産事業、機械事業、投資事業の4事業部体制となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、貴金属事業、投資事業が増加したものの、不動産事業および機械事業が減少したことから、売上高は前期比11.2%減少の324億91百万円、金額にして41億4百万円の減収となりました。

営業損益は、前期比に比べ23億75百万円減少し、7億64百万円の損失となりました。

経常損益は、営業外収益として国庫補助金収入等26百万円が発生したものの、営業外費用として休山管理費等81百万円が発生したことから、前期に比べ23億74百万円減少し、8億19百万円の損失となりました。

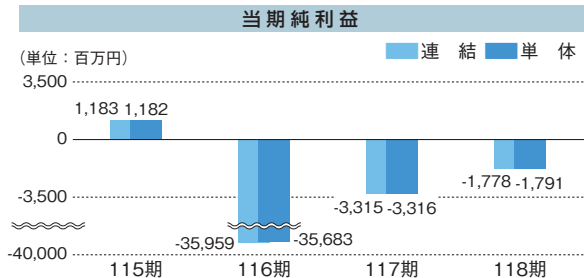
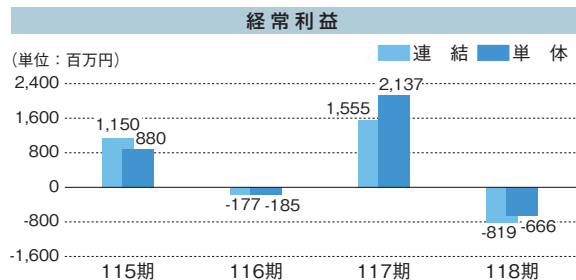
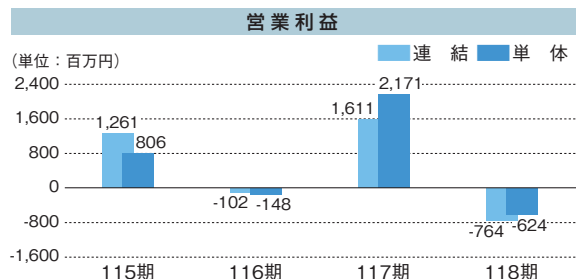
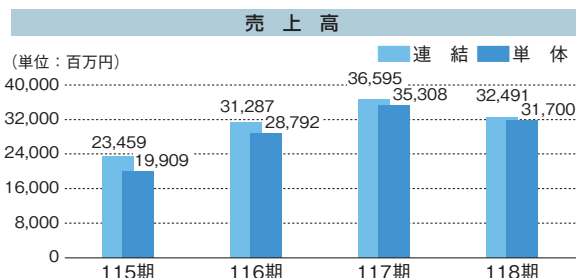
当期純損益は、特別利益として債務保証損失引当金戻入額等35百万円を計上したものの、他方、特別損失として貸倒引当金繰入額等9億74百万円を計上したことから、17億78百万円の損失となりましたが、多額の棚卸資産評価損および減損損失等を計上した前期に比べ15億37百万円の改善となりました。

なお、期末配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせていただきます。

当社グループは全社員の力を結集し、新たなニーズに応える事業展開を図り収益の増大を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



セグメント情報

貴金属事業部門

貴金属事業部門、東京工場における金の生産量は、前期に比べ339キログラム増加の6,998キログラム（前期6,659キログラム）となりました。

宝飾部門の営業強化策として、平成21年4月にはダイヤモンドの仕入、卸を主力業務とする「仲御徒町支店」を新設し、営業を開始いたしました。

また、平成22年3月にはダイヤモンドを中心とした宝石の仕入、販売を行なう「ルピナス銀座店」を、より集客力の見込める路面店に移転いたしました。

当該営業力の強化により、売上高は前期比2.9%増加の311億円78百万円、金額にして8億81百万円の増収となりました。

営業損益につきましては、工場における設備増強に伴う固定費の増加に加え、商事部門が低調であったことから、前期に比べ25百万円の改善にとどまり、1億31百万円の損失となりました。

国内金建値（期中平均）は、1グラム当たり3,074円（前期2,831円）となりました。

営業拠点につきましては、東京支店、御徒町支店、御徒町南口支店、仲御徒町支店、新宿西口支店、銀座支店、ルピナス銀座店、五反田支店、甲府支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、仙台支店の13店舗体制となりました。



東京工場分析室



東京工場の研究施設（一部）

不動産事業部門

不動産事業部門の売上高は、都内の3物件販売および不動産賃貸収入等をあわせて3億63百万円となりました。

前期は大型物件の販売があったこともあり、売上高は前期に比べ46億49百万円の大幅な減収となりました。

営業損益につきましては、売上高の大幅な減少、また、不動産市況の下落に伴って赤字販売を余儀なくされた物件があったことから、2億75百万円の損失（前期は28億41百万円の利益）となりました。

機械事業部門

機械事業部門につきましては、平成20年10月以降は国内、海外ともに設備投資意欲が急速に減退し、売上の急激な減少に直面いたしました。

これに対応するため、前期に引続き茅ヶ崎支店を閉鎖する等、事業の再構築を図っております。

売上高は、7億61百万円、前期比5億24百万円の大幅な減収となりました。

営業損益につきましては、事業の再構築の効果もあり3億97百万円改善したものの、1億79百万円の損失となりました。

投資事業部門

投資事業につきましては、有利で安定した運用を基本としており、売上高は1億87百万円、営業損益は1億67百万円の利益となりました。

事業セグメントは別の売上高は次のとおりであります。

事業区分	当連結会計年度	前連結会計年度	前年度比
	百万円	百万円	百万円
貴金属事業	31,178	30,296	881 (2.9%)
不動産事業	363	5,013	△ 4,649 (△92.7%)
機械事業	761	1,285	△ 524 (△40.8%)
投資事業	187	—	187 (—%)
合計	32,491	36,595	△ 4,104 (△11.2%)

(注) 投資事業につきましては、重要性が増したことから、内容を適切に開示するため、当期よりセグメント区分することにいたしました。

トピックス

1. 貴金属事業部

全国の営業拠点は、平成21年4月1日新設の仲御徒町支店を含めて13店舗体制となりました。

当社は、貴金属事業部門を精金部門と宝飾部門の2つに区分しております。

精金部門の11支店は、主に金・プラチナ等の貴金属原料の仕入および製品の販売を行なっており、東京工場は金およびプラチナの精製事業を行なっております。

生産能力につきましては、金設備の増設工事が完了し、金は月産1,000キログラム、プラチナは20キログラムであり、各支店は設備に見合う適正な原料集荷等、安定操業の維持に向け営業の強化を図っております。

研究部門においては、保有する貴金属リサイクル技術をさらなる事業拡大に結び付けるべく、希少金属の調査・研究に着手いたしました。

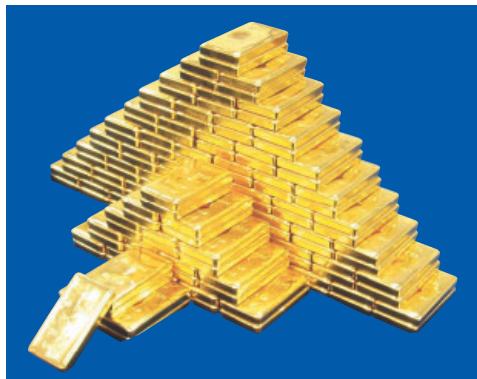
精金部門は、金およびプラチナをはじめとする白金族のリサイクル事業をメインとして事業展開し、売上高および利益の増大を図ってまいります。

宝飾部門はダイヤモンドの仕入、卸を主な業務とする「仲御徒町支店」を新設するとともに、ダイヤモンドを中心とした宝石の仕入、販売を行なう「ルピナス銀座店」を移転する等、幅広い顧客ニーズに対応した積極的な営業活動や商品開発に取り組んでおります。

貴金属事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.jigane.com/>

貴金属事業部は、今後とも地球に優しいリサイクル事業を柱に、新技術の確立や新製品の提案を行なってまいります。



金地金（1キログラムインゴット）



純金製 猛虎（商品の一例）

2. 中外鉱業オリジナルオリジナルミニバーの販売について

中外鉱業ではこれまで弊社オリジナルブランドの金地金1キログラムの販売を行ってきましたが、この度、お客様のご要望にお応えし500グラム、100グラム、50グラムに加え5グラムのミニバーの販売を開始いたしました。

ハンドメイド仕上げになっておりますので、純金のつややかな輝きがより温かみのあるものを感じられ、柔らかな雰囲気が特徴的です。

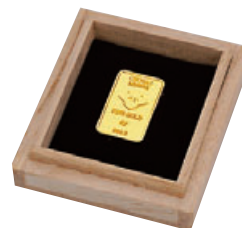
ご自身の資産としてだけでなく、贈り物などにもお勧めです。



金地金（1キログラム）



金地金詰め合せセット



金地金（5グラム）

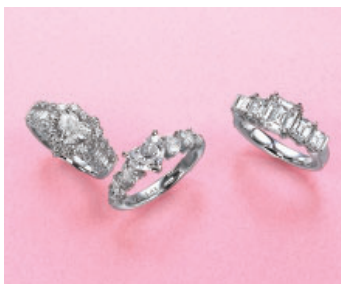
3. 宝飾部門（ルピナス銀座店、仲御徒町支店）のご紹介

ルピナス銀座店、仲御徒町支店において、ダイヤモンドのルースの販売を中心として、ジュエリー商品の各種販売を行っております。

ダイヤモンドの在庫を豊富に取り揃えており、お客様に満足していただける商品をご提供してまいります。

宝飾部門のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.lupinus-japan.com>



ダイヤモンドリング（商品の一例）



ダイヤモンドネックレス（商品の一例）

4. 機械事業部

機械事業部門は、中古工作機械、鍛金機械等の仕入販売を中心としたビジネスモデルを構築しておりますが、工作機械需要の大幅な減少の中で、支店の統廃合および人員の削減、価格調整による在庫の圧縮等事業の再構築を鋭意進めてまいりました。

現在、東京支店、足立支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店の5支店体制となっております。

製造業を中心に企業の設備過剰感は依然として高いことから、設備投資マインドは引続き冷え込んだ状態で停滞を続けておりますが、景気は穏やかな回復基調にあります。

ここにきて、一部の機種に動きが見られるようになってきたことから、同業他社に先駆けて、優れた仕入販売ができるよう情報を収集に注力し、仕入の強化を図ってまいります。

機械事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.intexkikai.com/>



複合加工機



毎月発行の中古工作機械専門誌



ダブルクランクプレス



立型マシニングセンタ

財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在		平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
[流動資産]	6,484	7,815	[流動負債]	441	447
現金及び預金	2,389	1,830	支払手形及び買掛金	15	12
受取手形及び売掛金	984	1,762	短期借入金	45	49
有価証券	13	14	1年内返済予定の長期借入金	84	37
商品及び製品	617	393	未払金	45	189
仕掛品	341	473	未払法人税等	34	36
原材料及び貯蔵品	62	48	債務保証損失引当金	37	89
仕掛不動産	1,559	1,463	デリバティブ債務	151	—
預け金	1,382	1,762	その他	26	33
その他	59	70	[固定負債]	467	94
貸倒引当金	△ 926	△ 2	長期借入金	361	2
[固定資産]	2,081	2,160	長期未払金	77	81
有形固定資産	1,410	1,491	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
建物及び構築物	311	329	債務保証損失引当金	15	—
機械装置及び運搬具	253	309	預り敷金保証金	5	3
土地	826	826	負債合計	908	541
その他	19	26	純資産の部		
無形固定資産	373	372	[株主資本]	7,656	9,435
地上権	365	365	資本金	12,782	12,782
その他	8	7	利益剰余金	△ 5,094	△ 3,316
投資その他の資産	296	296	自己株式	△ 30	△ 30
投資有価証券	101	101	純資産合計	7,656	9,435
出資金	9	9	負債・純資産合計	8,565	9,976
長期未収金	440	401			
敷金及び保証金	154	163			
その他	17	21			
貸倒引当金	△ 428	△ 402			
資産合計	8,565	9,976			

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成21年4月1日～平成22年3月31日	平成20年4月1日～平成21年3月31日
売 上 高	32,491	36,595
売 上 原 価	32,004	33,323
売 上 総 利 益	486	3,271
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,250	1,659
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△ 764	1,611
営 業 外 収 益	26	29
受 取 利 息	0	1
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
違 約 金 収 入	7	—
設 備 賃 貸 料	—	3
受 取 保 険 金	0	3
そ の 他	9	11
営 業 外 費 用	81	85
支 払 利 息	7	2
休 山 管 理 費	67	82
そ の 他	6	0
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	△ 819	1,555
特 別 利 益	35	40
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	35	40
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0	0
特 別 損 失	974	4,891
固 定 資 産 除 却 損	0	14
た な 卸 資 産 評 価 損	—	2,960
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	950	40
訴 訟 和 解 金	5	—
減 損 損 失	18	1,502
解 約 補 償 金	—	300
建 物 原 状 回 復 費	—	69
そ の 他	—	3
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失 (△)	△ 1,757	△ 3,295
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	20	22
少 数 株 主 損 失 (△)	—	△ 1
当 期 純 損 失 (△)	△ 1,778	△ 3,315

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成21年3月31日 残高	12,782	△ 3,316	△ 30	9,435	9,435
連結会計年度中の変動額					
当期純利益		△ 1,778		△ 1,778	△ 1,778
自己株式の取得			△ 0	△ 0	△ 0
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 1,778	△ 0	△ 1,778	△ 1,778
平成22年3月31日 残高	12,782	△ 5,094	△ 30	7,656	7,656

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度	科 目	当事業年度	前事業年度
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在		平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
[流動資産]	6,832	7,997	[流動負債]	336	338
現金及び預金	2,177	1,701	買掛金	15	11
受取手形	924	1,756	1年内返済予定の長期借入金	84	37
売掛金	60	6	未払金	11	146
有価証券	13	14	未払費用	5	6
商品及び製品	340	318	未払法人税等	27	25
仕掛	341	473	前受金	3	6
原材料及び貯蔵品	62	48	預り金	2	2
仕掛不動産	1,559	1,463	債務保証損失引当金	37	89
前払費用	17	37	デリバティブ債務	134	-
関係会社短期貸付金	949	1,091	その他	12	12
未収入金	0	5	[固定負債]	471	101
預け金	1,282	1,052	長期借入金	361	2
未収消費税等	12	9	長期未払金	56	63
その他	17	22	預り敷金保証金	30	28
貸倒引当金	△ 926	△ 2	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
[固定資産]	1,618	1,877	債務保証損失引当金	15	-
有形固定資産	778	843	負債合計	807	439
建物	207	217	純資産の部		
構築物	0	0	[株主資本]	7,644	9,435
機械及び装置	240	288	資本金	12,782	12,782
車両運搬具	0	0	利益剰余金	△ 5,107	△ 3,316
工具、器具及び備品	17	24	その他利益剰余金		
土地	313	313	繰越利益剰余金	△ 5,107	△ 3,316
無形固定資産	371	370	自己株式	△ 30	△ 30
施設利用権	1	1	純資産合計	7,644	9,435
地上権	365	365	負債・純資産合計	8,451	9,874
商標権	1	-			
ソフトウェア	2	3			
投資その他の資産	468	663			
投資有価証券	1	1			
関係会社株式	100	100			
出資金	1	1			
関係会社長期貸付金	375	420			
長期未収入金	440	401			
金属鉱業等鉱害防止積立金	7	7			
敷金及び保証金	150	141			
その他	5	4			
貸倒引当金	△ 613	△ 414			
資産合計	8,451	9,874			

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	平成21年4月1日～平成22年3月31日	平成20年4月1日～平成21年3月31日
売 上 高	31,700	35,308
売 上 原 価	31,379	31,961
売 上 総 利 益	321	3,347
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	945	1,176
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△ 624	2,171
営 業 外 収 益	38	50
受 取 利 息	19	18
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
そ の 他	9	22
営 業 外 費 用	81	84
支 払 利 息	7	1
休 山 管 理 費	67	82
そ の 他	6	0
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	△ 666	2,137
特 別 利 益	35	40
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	35	40
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0	0
特 別 損 失	1,147	5,482
固 定 資 産 除 却 損	0	14
関 係 会 社 株 式 評 価 損	—	708
た な 卸 資 産 評 価 損	—	2,830
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,122	53
減 損 損 失	18	1,502
解 約 補 償 金	—	300
建 物 原 状 回 復 費	—	69
そ の 他	5	3
税 引 前 当 期 純 損 失 (△)	△ 1,778	△ 3,304
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	12	11
当 期 純 損 失 (△)	△ 1,791	△ 3,316

株主資本等変動計算書

当事業年度 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	純資産合計
		その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
平成21年3月31日 残高	12,782	△ 3,316	△ 3,316	△ 30	9,435	9,435
事業年度中の変動額						
当期純利益		△ 1,791	△ 1,791		△ 1,791	△ 1,791
自己株式の取得				△ 0	△ 0	△ 0
事業年度中の変動額合計	—	△ 1,791	△ 1,791	△ 0	△ 1,791	△ 1,791
平成22年3月31日 残高	12,782	△ 5,107	△ 5,107	△ 30	7,644	7,644

会社概要(平成22年3月31日現在)

会社名 中外鉱業株式会社
(英文名) Chugai Mining Co., Ltd.
本社 〒100-6312
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル
TEL 03-3201-1541(代)
FAX 03-3201-5019
http://www.chugaikogyo.co.jp
創設 昭和7年5月2日
立金 12,782,064,884円
発行可能株式総数 527,000,000株
発行済株式の総数 289,747,982株

■事業所

東京支店 〒100-6312
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル
TEL 03-3201-1542 FAX 03-3201-1600
御徒町支店 〒110-0005
東京都台東区上野五丁目25番16号 ウエハラビル
TEL 03-3832-1261 FAX 03-3832-1263
御徒町南口支店 〒110-0005
東京都台東区上野五丁目13番11号 二栄ビル
TEL 03-5812-9020 FAX 03-3835-2444
仲御徒町支店 〒110-0005
(平成21年4月1日新設) 東京都台東区上野五丁目15番16号 川村ビル
TEL 03-6803-2581 FAX 03-6803-2583
新宿西口支店 〒160-0023
東京都新宿区西新宿七丁目2番10号 栄立新宿ビル
TEL 03-5913-7800 FAX 03-5913-7801
銀座支店 〒104-0061
東京都中央区銀座一丁目14番12号 楠本第17ビル
TEL 03-6427-6600 FAX 03-6427-6622
ルピナス銀座店 〒104-0061
(平成22年3月5日移転) 東京都中央区銀座五丁目4番15号 西五ビル
TEL 03-6228-5353 FAX 03-6228-5363
五反田支店 〒141-0031
東京都品川区西五反田二丁目6番3号 東洋ビル
TEL 03-6431-9989 FAX 03-3779-2961
甲府支店 〒400-0031
山梨県甲府市丸の内二丁目8番3号 丸和ビル
TEL 055-227-3500 FAX 055-227-3330
名古屋支店 〒460-0011
名古屋市中区大須三丁目15番16号 第一水野ビル
TEL 052-242-0676 FAX 052-242-6778
大阪支店 〒542-0081
大阪府中央区南船場四丁目6番10号 新東和ビル
TEL 06-4704-5061 FAX 06-4704-5062

■事業所

福岡支店 〒810-0001
福岡市中央区天神五丁目7番3号 福岡天神ビル
TEL 092-405-8010 FAX 092-405-8623
仙台支店 〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央二丁目11番30号 YSビル
TEL 022-397-7511 FAX 022-397-7512
東京工場 〒143-0003
東京都大田区京浜島二丁目12番16号
TEL 03-3790-7130 FAX 03-3799-4091
持越工場 〒410-3206
静岡県伊豆市湯ヶ島892番地41
TEL 0558-85-0762 FAX 0558-85-1547

■役員

代表取締役社長 安藤道明
常務取締役 小川幸重
取締役 阿部守
常勤監査役 西元丈夫
社外監査役 山崎康雄
(弁護士)
社外監査役 内田雅敏
(弁護士)
社外監査役 高橋信行
(公認会計士)

■連結子会社

株式会社インテックス

■非連結子会社

株式会社キャリアメイト

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店 ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各 支店で行なっております。
	・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座 の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
	・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取請求場所	上記の株主名簿管理人、同事務取扱場所
公告方法	電子公告により行ないます。 公告掲載URL http://www.chugaikogyo.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場取引所	東京、大阪各証券取引所